

# バンコクでの就職イベント、日系企業と高度人材との接触の場に

## 1. 概要：

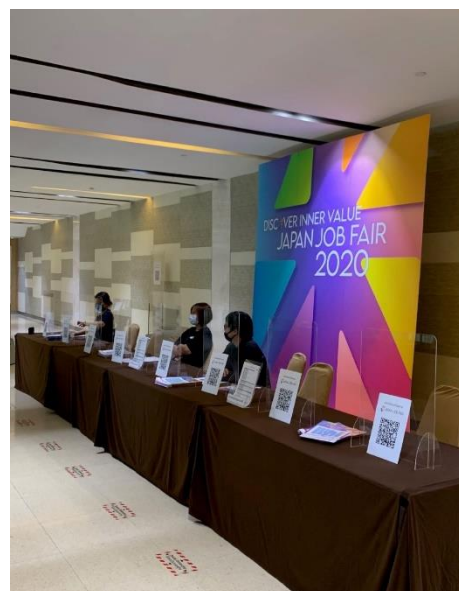
今年で9回目となるバンコク日本人商工会議所（JCC）が主催する日系企業就職フェア。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、3月から10月に開催が繰り延べとなりつつも開催に漕ぎつけた。今回はオンライン・オフラインによる初のハイブリッド開催となった。

## 2. 基本情報（イベント概要）

- ・イベント名：第9回日系企業就職フェア
- ・ウェブサイト：<https://www.jcc.or.th/jobfair/>
- ・開催日時・場所：2020年10月30～31日、セントラルプラザ・ラップラオ（バンコク）
- ・主催者：バンコク日本人商工会議所（JCC）
- ・規模：出展企業数27社（オンライン出展3社含む）、来場者数2,778人
- ・イベント概要：元日本留学生や日本語専攻の学生を中心にした人材マッチングイベント

## 3. 詳細内容

タイ政府の新型コロナ感染拡大防止策が功を奏し、市内感染者の発生も抑えられていたバンコク市内にて、10月30～31日、バンコク日本人商工会議所（以下、JCC）による「日系企業就職フェア」が開催された。2012年から今年で9回目となる本イベントの特徴は、日系企業への就職を希望する元日本語留学生や日本語専攻の学生といった日本語人材のみならず、エンジニアや管理職を含む優秀なタイ人と日系企業とのマッチングの場として位置付けられる。



会場受付の様子

主催者のJCCは、日系企業の人材採用支援の一環として、本イベントを2012年から実施し、これまでに延べ109,448名のタイ人求職者と在タイ日系企業との面談を実施。

今回のイベントでは、新型コロナウイルスによる影響、および求職市場の需要拡大に対応すべく、オンラインとオフラインによる初のハイブリットでの開催を試みた。

今回の出展社数は、ブース出展24社とオンライン出展3社の計27社から成り、日系大手商社や金融機関のみならず、中小企業や、地方から初めて出展する企業の姿もあった。

### <出展企業の目的は人材発掘>

本イベントに期待されているのは、日本語人材やエンジニアなど優秀な人材を見つけたい企業と、在タイ日系企業と直接接触する機会を求めているタイ人求職者とのマッチングの場ということにつくる。

企業の担当者と求職者が直接接触できる機会は、コロナ禍においては非常に貴重な機会であり、求職者にとっては、今まで社名を知らなかった企業と接点を持ち、話を聞くことで、自分自身により合った企業を再発見できる機会となることから本イベントの役割は大きい。

ある中小企業の担当者は「コロナ禍による経済減速の影響で、むしろ優秀な人材が就活しているのではないかと、今回のイベントに期待を寄せていた。

また別の大手企業の担当者は、

「毎年このイベントに参加して、定期的に新規採用している」と、本イベントを有効に使っているとのことだった。

### <オンライン開催の効果>

今年は密を避けることを重視するなか、初のオンライン開催を試み、今まではイベントのタイミングでバンコクに来ることのできなかった地方の学生など、広範囲の地域からの求職者の申込受付が目立った。



出展者ブース

オンライン面談希望者数は、当初予想していた2,000～2,500件を上回る3,000件に到達、オンライン開催による反響の大きさを物語っている。会場内の来場者からも、今回はオンラインでの参加も可能なことで、「会場に来る時間が取れなかった友人もエントリーできるのはとても便利」との声や、「遠方からわざわざ来なくていい分、時間と費用が節約できる」という声もあり、オンライン開催に対する評価が高いことを伺わせた。

### <新たなアクティビティへ取り組み>



キャリア相談ブース

例年行っていたステージ上での著名人の講演は、安全面を考慮し今回は取りやめた。密を避けるなかでの新たな試みとして、専門家によるキャリア相談のブースを設け、タイ人求職者の適性検査を行った。

適性検査の結果を、携帯電話ですぐに確認できる手軽さもあってか、当初予想していた以上に利用者が

多く、関心度の高さを窺わせるものとなった。

適性検査を受けた来場者によると、レジユメの作成方法や面談での受け答えの仕方などの紹介をしてもらうことができ、役に立ったようだ。

### <イベントの今後について>

ジエトロが主催者にインタビューしたところ、当初予定していた出展企業数が減少した影響もあり、来場者は2日間で2,778人と、前回の5,577人の約半数となったとのことだが、コロナの収束が見えないなかで、二度の開催日程延期を決断せざるを得ない状況下であったことや、反政府集会やデモが本格化することも相まって、最悪の場合は中止もあり得たなか、



来場者の様子



今回開催に漕ぎつけたと話していた。

また今回初めてのオンライン開催となったことについては、「地方在住の方々がバンコクでこういったイベントがあるということを知ってもらうことができた点は大きく、また企業側も遠方の方々との接点ができたといい点について、オンライン開催の効果を感じることができた。次回以降は、より効果的なものとなるよう、必要な機能に限定したオンライン面談申込方法に変えていったり、求職者に対し、自己PRの作成方法などをウェビナー形式で事前に教えらえるようなことも試していきたい」、更に「今後は求職者と企業とをつなげるためのキッカケ作りの場としての役割をより重視し、イベント規模を拡大して盛大に開催するよりも、派手さを抑え本当に役立つものにしていくとともに、中小企業の方々にも参加しやすいような、魅力的なイベントにしていきたい」と抱負を語っていた。

本イベントが、日系企業とタイ人求職者との架け橋として、双方にとってより効果的な出会いの場となり、日系企業への就職を希望する優秀なタイ人が今後も増え続けてくれることを期待したい。

以上



会場の様子